

## 企業・大学連携による学内インターンプロジェクト

### 精密機械製造業との連携による学内インターン及び地域企業見学会の開催

#### プロジェクトメンバー

熊本大学大学院先端科学研究部（代表）教授 池上知顕

熊本大学自然科学研究科情報電気電子工学専攻 教授 飯田全広

連携機関：株式会社プレシード

#### プロジェクトの概要・目的

県内企業と連携し、情報技術を活用してインターンシップを主に学内で実施する。具体的には、県内中堅精密機器製造業者である（株）プレシードと連携し、申請者の指導の下、テレビ会議システム等を利用して連携企業との連絡を密に学内で開発等に関するインターンシップを実施する。

インターンシップに先立ち、申請者及び企業担当者を講師に学生を対象とした開発ツール等に関する技術研修も実施すると共に、連携企業での打合せも期間中複数回実施し、情報技術でのコミュニケーションの不足を補完する。更に、連携企業の関係する企業等の見学会も開催し、県内産業への理解を深める。

なお、企業から提示される開発課題等に関しては、連携企業の企業秘密を含むため、連携企業の了解が得られた部分のみ公開。

#### 活動内容と成果・効果

##### I. 実施内容

1. インターン生募集、採用：インターンシップ説明会（平成29年7月25日）を熊本大学内で実施する他、学内にインターン生募集のポスターを貼り、インターン生を広く募集した。結果、5件（大学院 修士1年生 3名、学部4年生 1名、学部1年生 1名）から問い合わせがあり、（株）プレシードで選考（平成28年9月10日～平成28年11月30日）を行い4名（大学院1年生3名、学部4年生1名）を採用（平成29年1月1日付）した。

2. インターンシップの実施：平成29年2月1日から3月31日（4月1日以降も継続）まで、インターン生4名の研修を実施。今後、インターン生は、研修を平成29年4月末までに完了し、研修を踏まえた実務を行う予定。

3. 今後の予定：平成29年4月以降も（株）プレシードは学内インターンシップを継続して行っていく。研修後の実務で同社業務への貢献が見られると判断した場合は、再度インターン生を募集し人員増を図りたいとのこと。

##### II. 成果・効果

インターンシップは学生が企業をよりよく知るための重要な機会である。しかし、県内企業、特に製造業は学生にあまり知られていない、郊外を拠点とするため通勤手段の提供が難しい等、様々な理由から中長期のインターン生の採用に苦慮している。そこで、今回の取り組みで学内でインターンシップを実施し通勤しやすくする工夫等を行ったところ、4人のインターン生を採用できた。このことは、学生の利便性等を高めることが、インターンシップ参加へのハードルを下げる有効な手段の1つであることを示している。

学生のインターンシップへの参加は、学生が当該県内企業を就職先の選択肢の1つとして見直すことにも役立つことから、このような工夫は、学生の地元定着率の向上を後押しする行動誘発手段の1つになるのではないかと思われる。



当社社員による3DCAD研修風景、一ヶ月あたり人によるが10時間～40時間程度の研修（自習含む）も行った。